

GMO フィナンシャルHD

2019年12月期

決算説明会

STOCK CODE:7177

代表執行役社長
常務執行役

グループCEO
グループCFO

鬼頭 弘泰
山本 樹

2020年2月5日



決算概要

事業概況

Appendix

- ・ 第3四半期は過去最高の営業収益を記録も、低調なマーケット環境の影響を受け、通期では減収・減益の着地
- ・ 一方、注力分野の ①FX収益性、②CFD育成、③タイ王国 は堅調に推移し、営業利益200億円に向けて邁進中

① FX収益性

- ・ 収益率※が大きく改善、6月には過去最高となる**68.9%**を記録

18/12期 46.9%

19/12期 55.7%

※スプレッド収益率、上記は全通貨ペア年間平均

② CFD育成

- ・ 取引人数※が前年比**約2倍**に急成長

18/12期 2,745名

19/12期 5,034名

※1日あたりの平均取引人数

③ 海外事業・タイ王国

- ・ 営業利益**単月黒字化**
- ・ 信用取引残高が開業2年で業界38社中、**第6位**※に

※2019年6月末時点

通期決算(1-12月) | サマリー

	2018年12月期 (2018年1-12月)	2019年12月期 (2019年1-12月)	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	347.8 億円	325.0 億円	△ 22.8 億円	△ 6.6 %
純営業収益	328.7 億円	303.1 億円	△ 25.6 億円	△ 7.8 %
営業利益	118.1 億円	97.6 億円	△ 20.5 億円	△ 17.4 %
経常利益	118.4 億円	96.8 億円	△ 21.6 億円	△ 18.3 %
最終利益	77.1 億円	60.7 億円	△ 16.4 億円	△ 21.3 %

通期決算(1-12月) | セグメント別の状況

()内は前期比

2018年1-12月

2019年1-12月

証券・FX事業

営業収益 300.3 億円 279.7 億円 (△6.9%)

営業利益 109.0 億円 87.2 億円 (△20.0%)

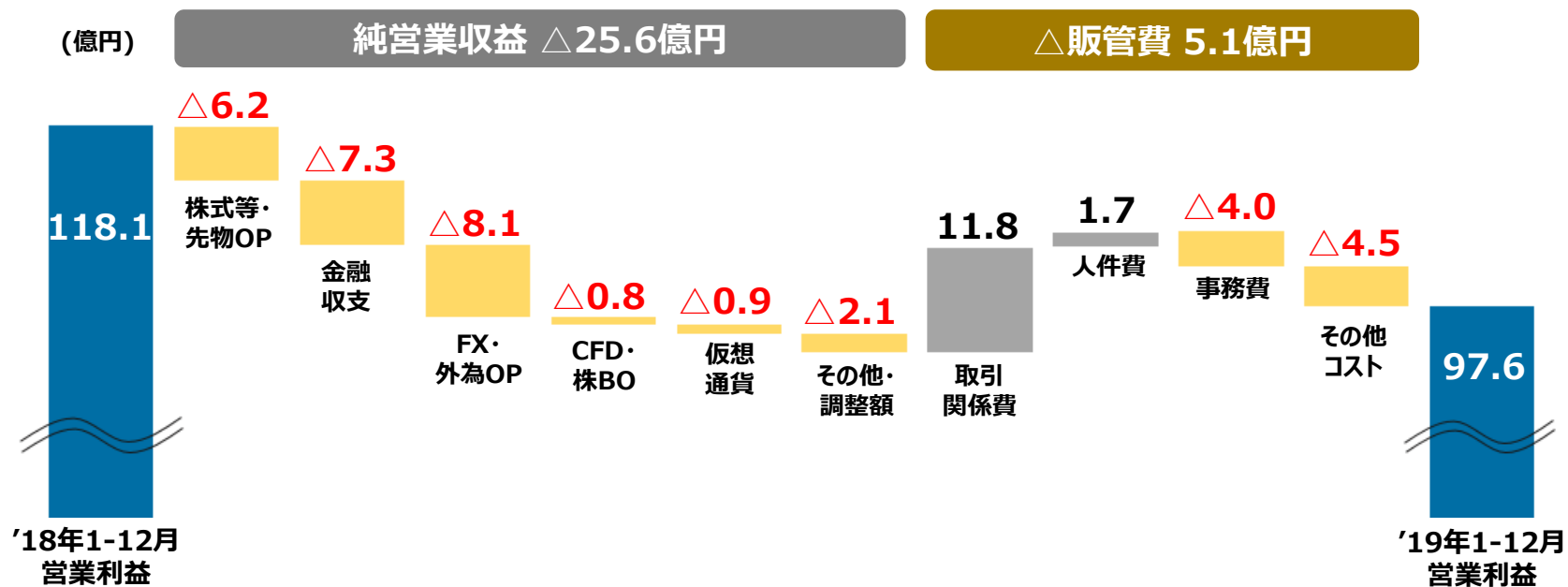
仮想通貨事業

営業収益 40.3 億円 39.4 億円 (△2.3%)

営業利益 7.2 億円 8.8 億円 (22.9%)

通期決算(1-12月) | 営業利益増減

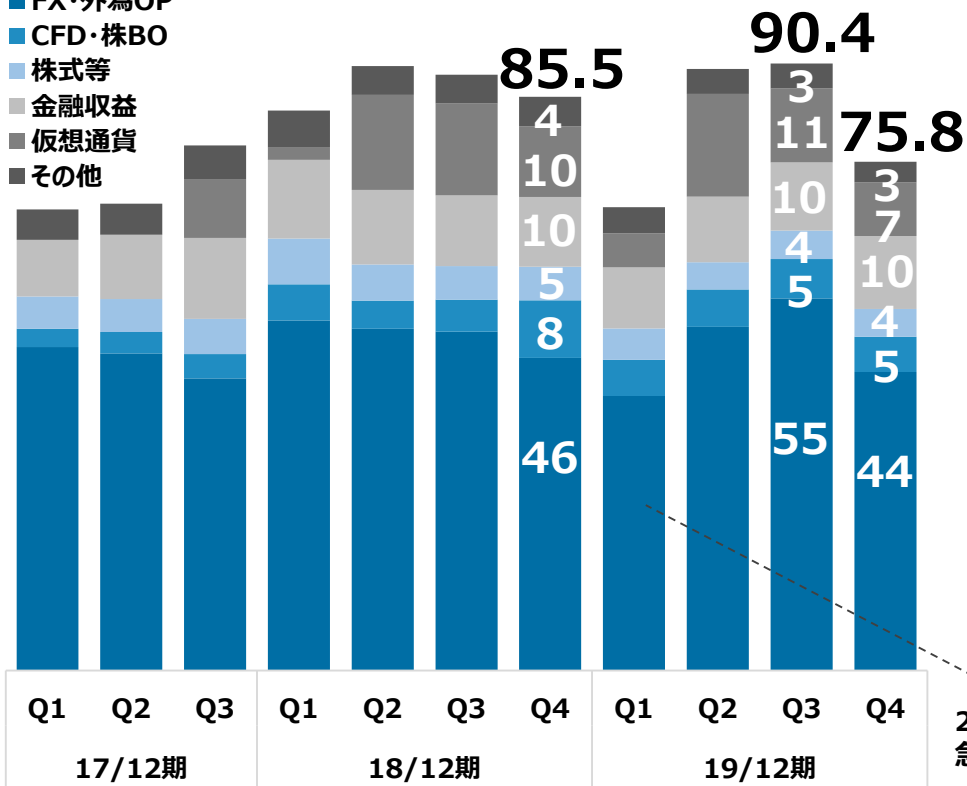
- 証券事業は、現物取引・信用取引ともに低調
- 通貨関連店頭デリバティブ商品は、店頭FXの取引高が18.3%減少したものの、収益性改善の効果により減収幅は4.0%(△8.1億円)と限定的
- 販売費及び一般管理費は、主に取引関係費の減少により2.4%減(△5.1億円)



四半期業績推移 | 営業収益(セグメント別/商品別)

(億円)

- FX・外為OP
- CFD・株BO
- 株式等
- 金融収益
- 仮想通貨
- その他



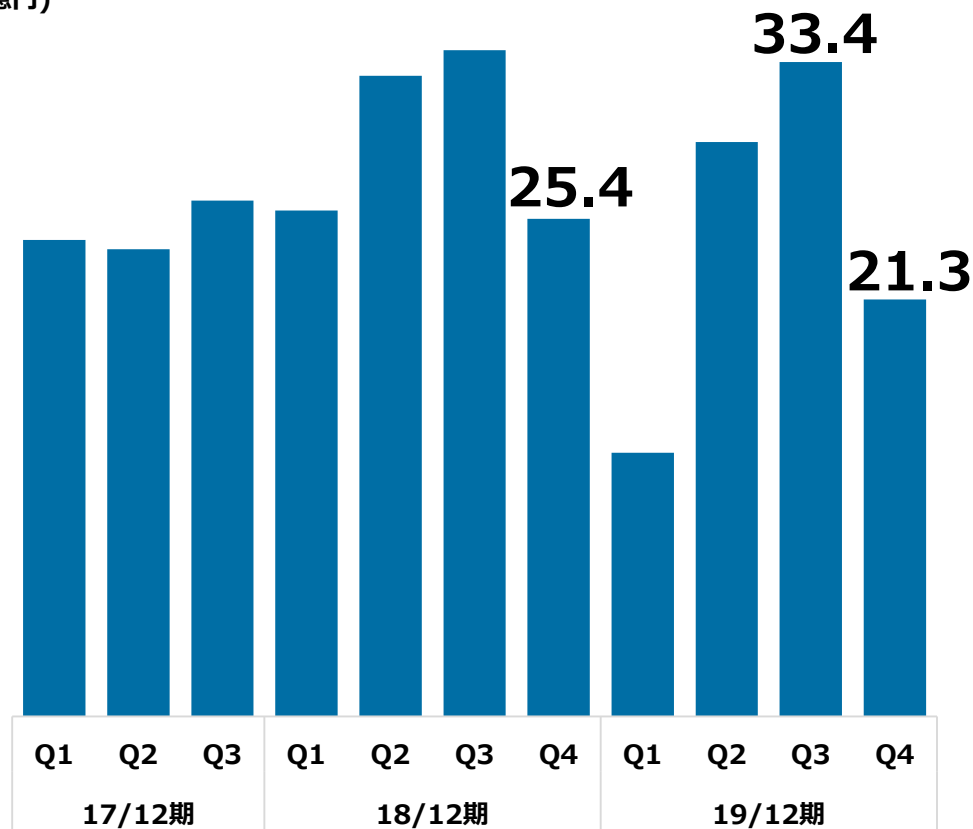
Q/Q
16.2%減収

Y/Y
6.6%減収

2019年1月の外国為替相場急落による減収

四半期業績推移 | 営業利益

(億円)



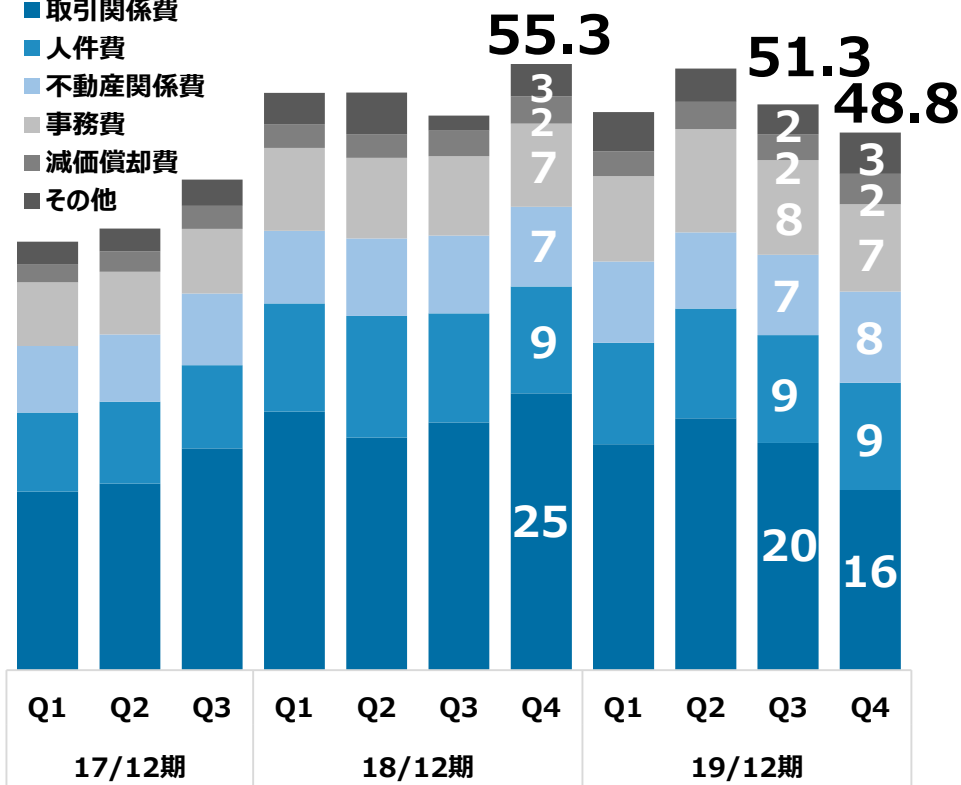
Q/Q
36.3%減益

Y/Y
17.4%減益

四半期業績推移 | 販売費及び一般管理費

(億円)

- 取引関係費
- 人件費
- 不動産関係費
- 事務費
- 減価償却費
- その他



Q/Q

5.0%減

広告宣伝費 △2.4億円

事務費 △0.6億円

Y/Y

2.4%減

今後の見通し 50~55億円程度

証券・FX事業：40億円強

仮想通貨事業：10億円弱

決算概要

事業概況

Appendix

事業概況ハイライト | 2019年12月期(1-12月)

FX

取引高
759兆円
前期**929**兆円

取引高シェア
21.8%
前期**22.9**%

預り証拠金残高
1,920億円
前年同月末**1,726**億円

株

売買代金
10.6兆円
前期**17.3**兆円

売買代金シェア
4.5%
前期**5.8**%

信用取引残高
984億円
前年同月末**910**億円

仮想通貨

売買代金
9.3兆円
前期**5.1**兆円

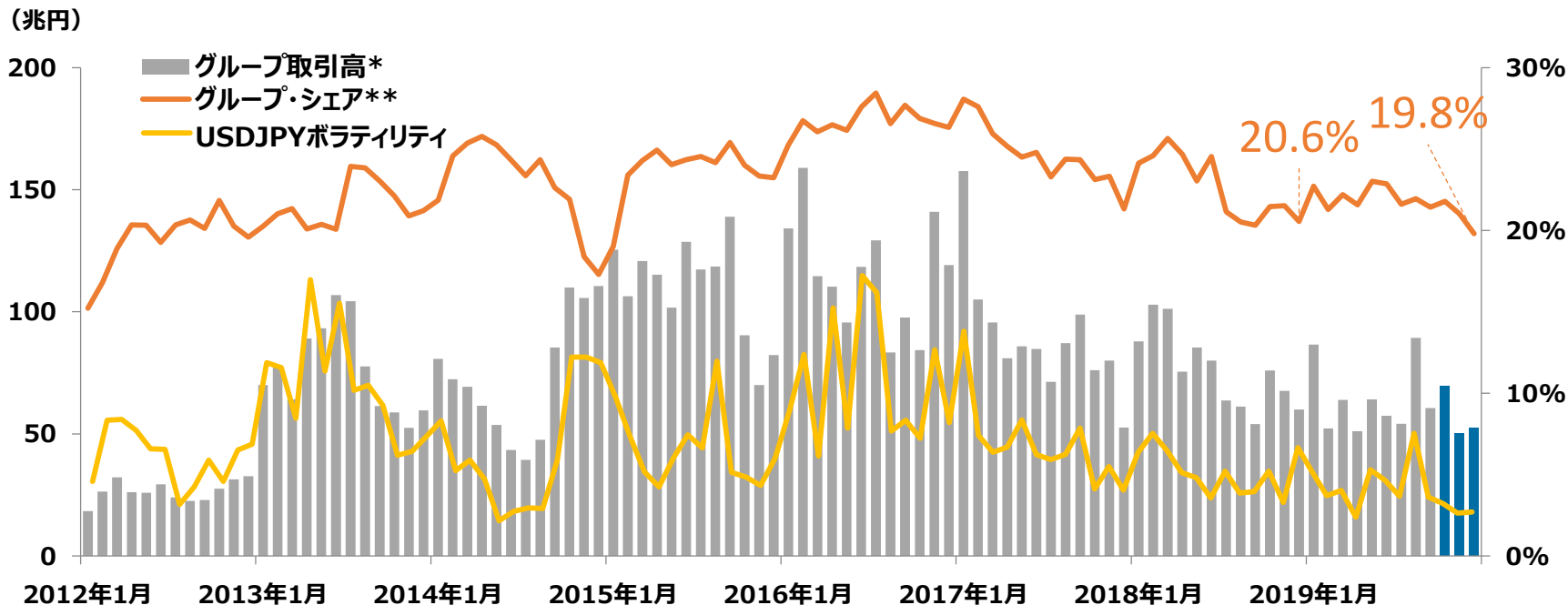
口座数
29.9万口座
前年同月末**22.5**万口座

預り資産残高
261億円
前年同月末**211**億円

FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成
FX(店頭FX)のデータは、GMOクリック証券及びFXプライムbyGMOの合計値
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

店頭FX | グループ取引高シェアの推移

- ・ 8月の一時的な復調を除き、年間を通してボラティリティは低調に推移
- ・ 年間のグループシェアは20%以上の水準をキープ

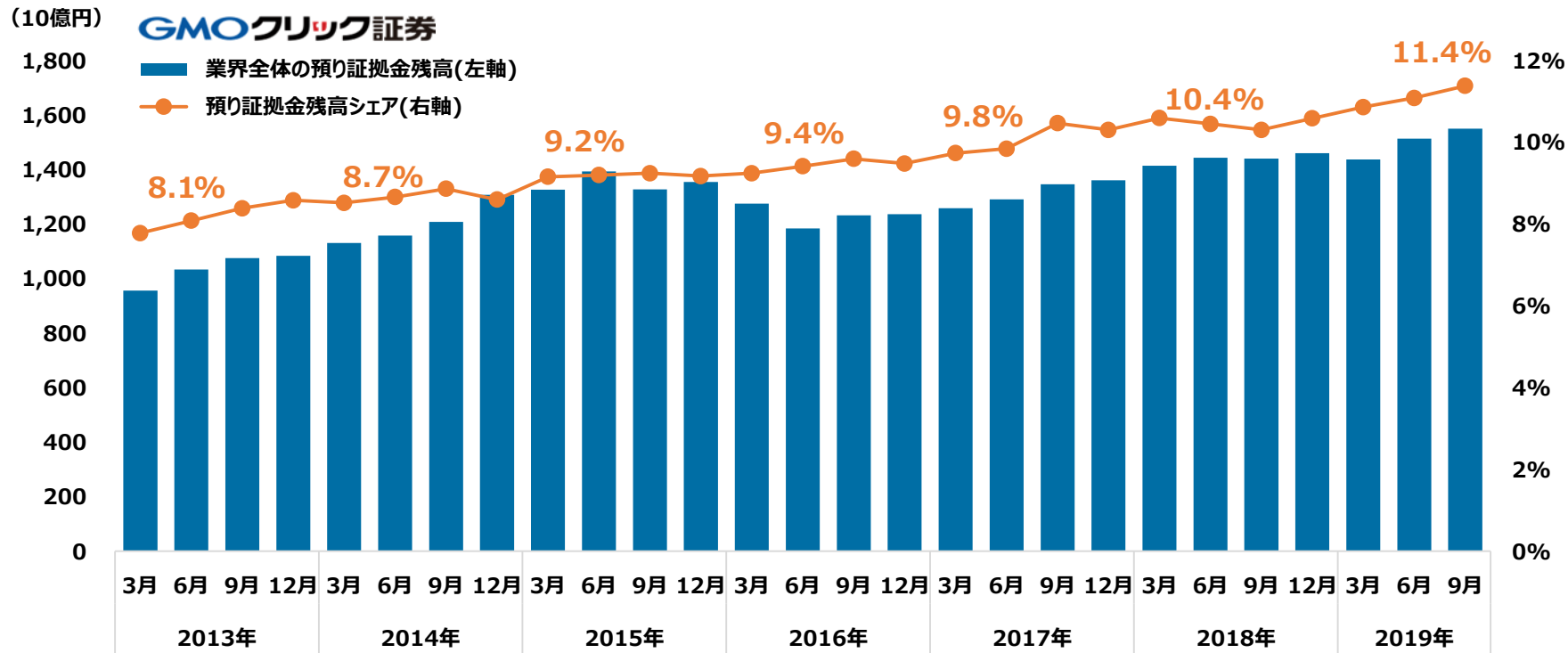


金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

* 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券とFXプライムbyGMOの合計値

** グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

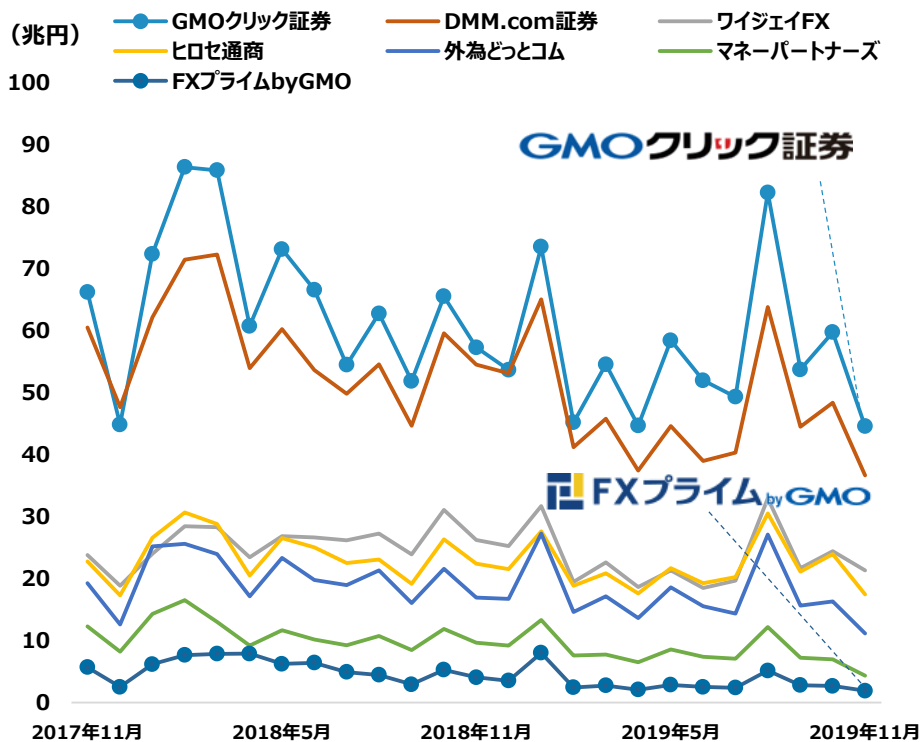
- 預り証拠金残高シェアは堅調に推移、国内トップの確固たる地位を確立



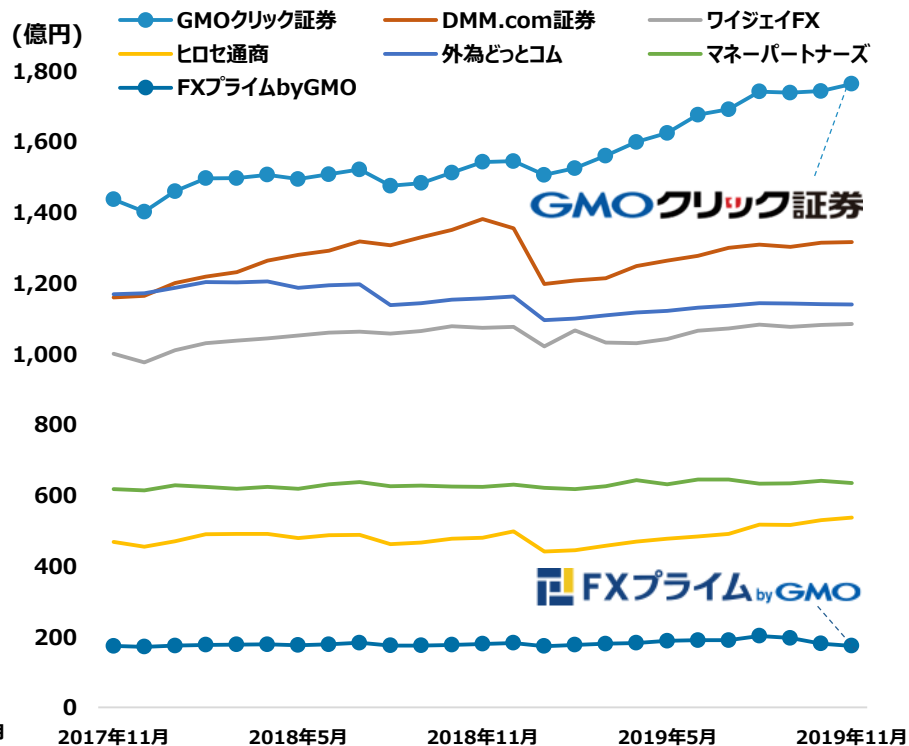
※ 金融先物取引業協会「四半期統計データ」とGMOクリック証券の預り証拠金残高より当社作成

店頭FX | 主要KPI比較

店頭FX取引高

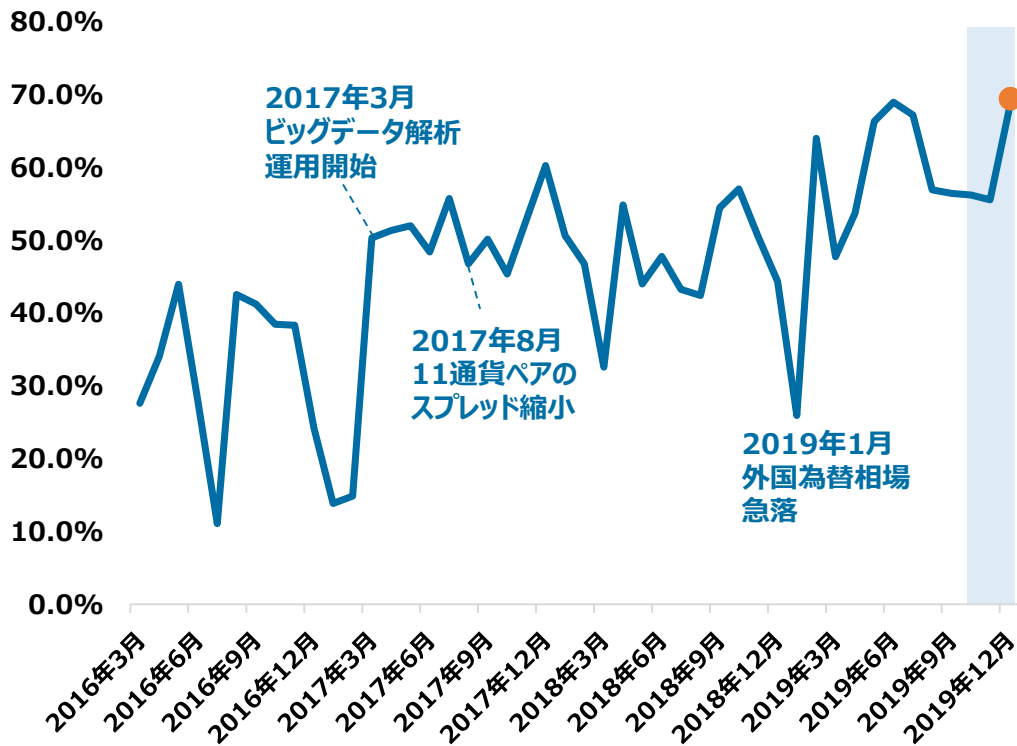


店頭FX預り証拠金残高



矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月～2019年11月)より当社作成(取引高は百万通貨は1億円として換算)

全通貨ペア GMOクリック証券

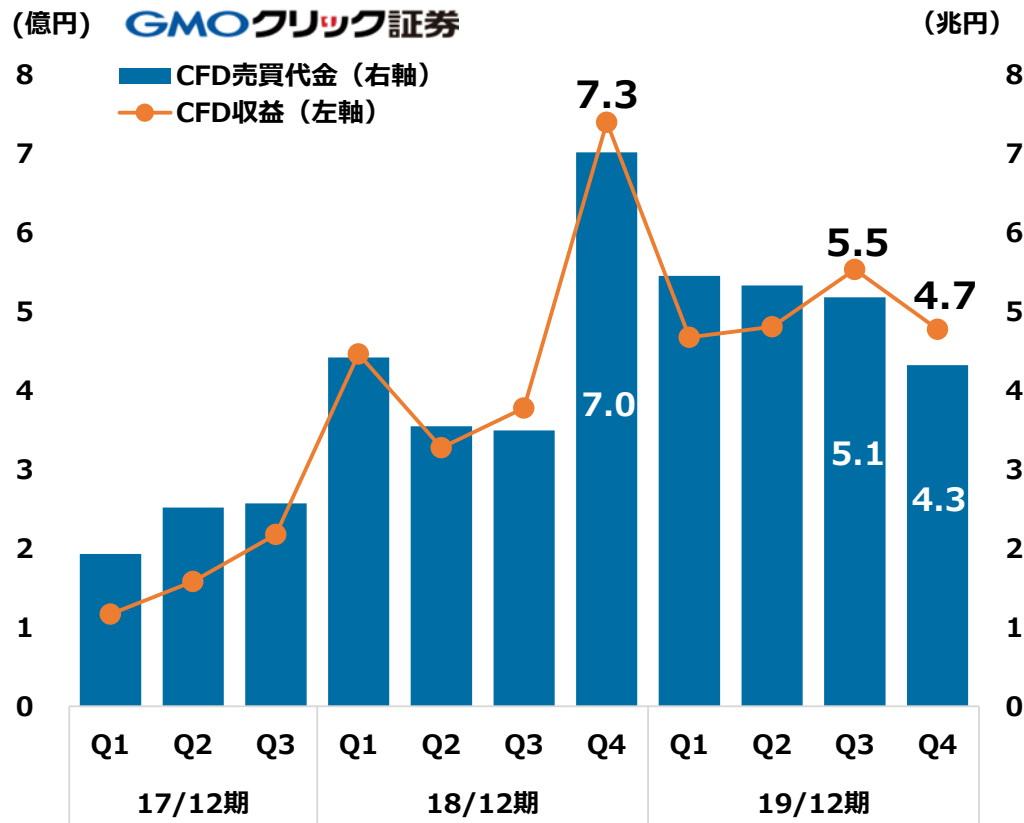


引き続き 高水準で推移

	2018年 12月期	2019年 12月期
取引高	857兆円	719兆円
営業収益	142億円	147億円

* GMOクリック証券の店頭FXに関する数値

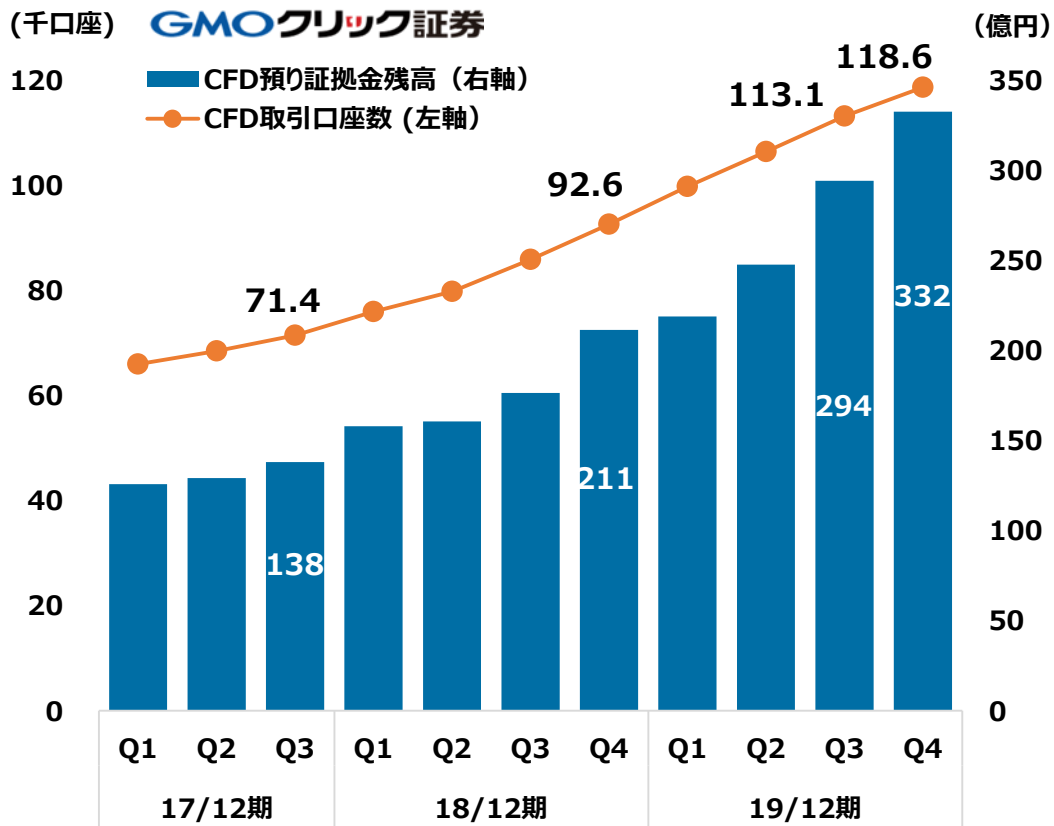
※ スプレッドに対して何%の収益が出ているかの比率



Q/Q

13.7%減収

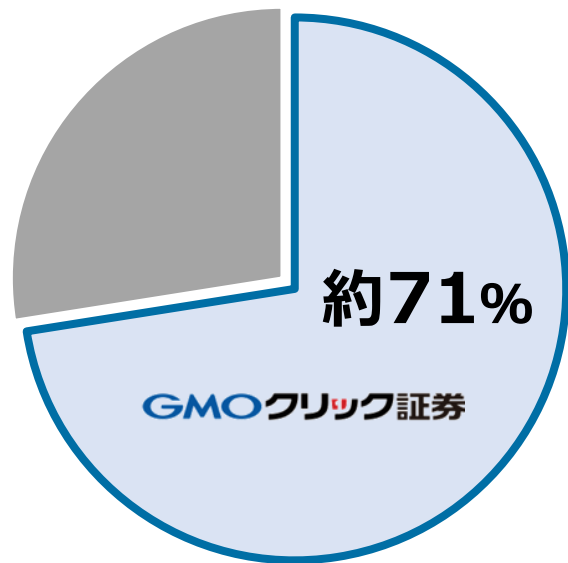
原油等のボラティリティの影響を受け売買代金は減少も、引き続き高い収益を確保



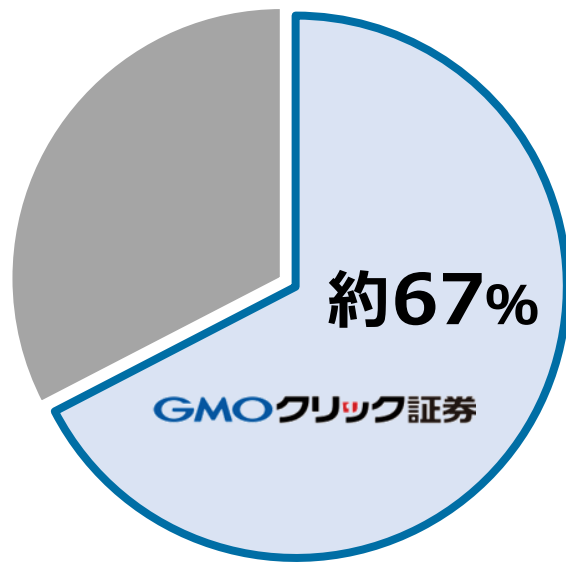
顧客基盤は 順調に拡大

預り証拠金残高
年平均成長率55.2%

証券CFDシェア※ 日本225、米国30など



商品CFDシェア※※ 金・原油・コーンなど



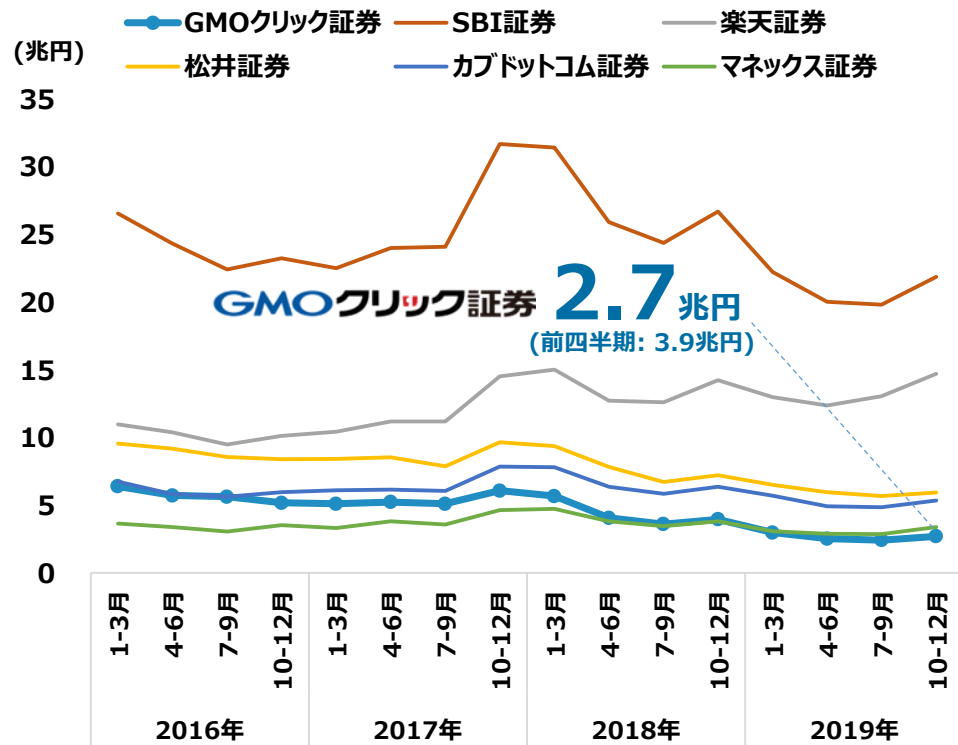
国内シェア 圧倒的No.1

※ 日本証券業協会統計情報より当社調べ、情報開示が年2回のため2018年9月～2019年9月の年間平均シェア（集計対象：個別株・株価指数先物・債券・その他有価証券）

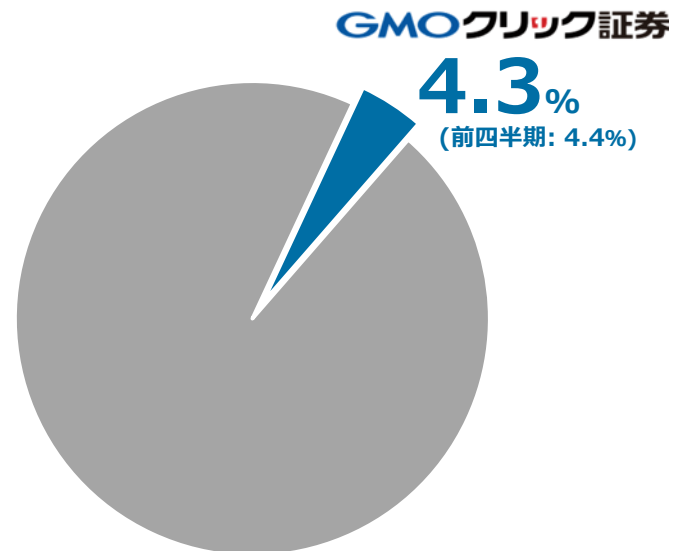
※※ 日本商品先物取引協会統計情報より当社調べ、2019年1月～12月の年間平均シェア（集計対象：エネルギー、貴金属、農産物）

- 2019年10月-12月の2市場個人株式等委託売買代金は前年同期比14.4%減

主要ネット証券株式等売買代金推移

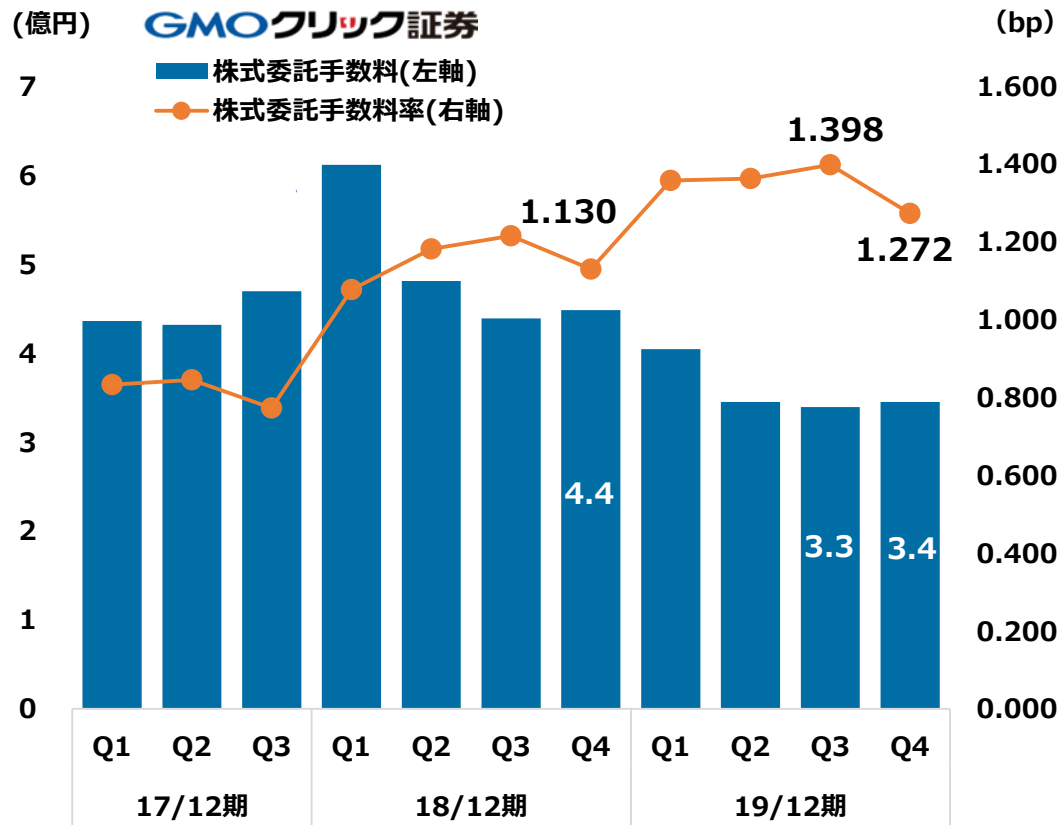


2市場に占める個人株式等委託売買代金シェア (2019年10-12月)



日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

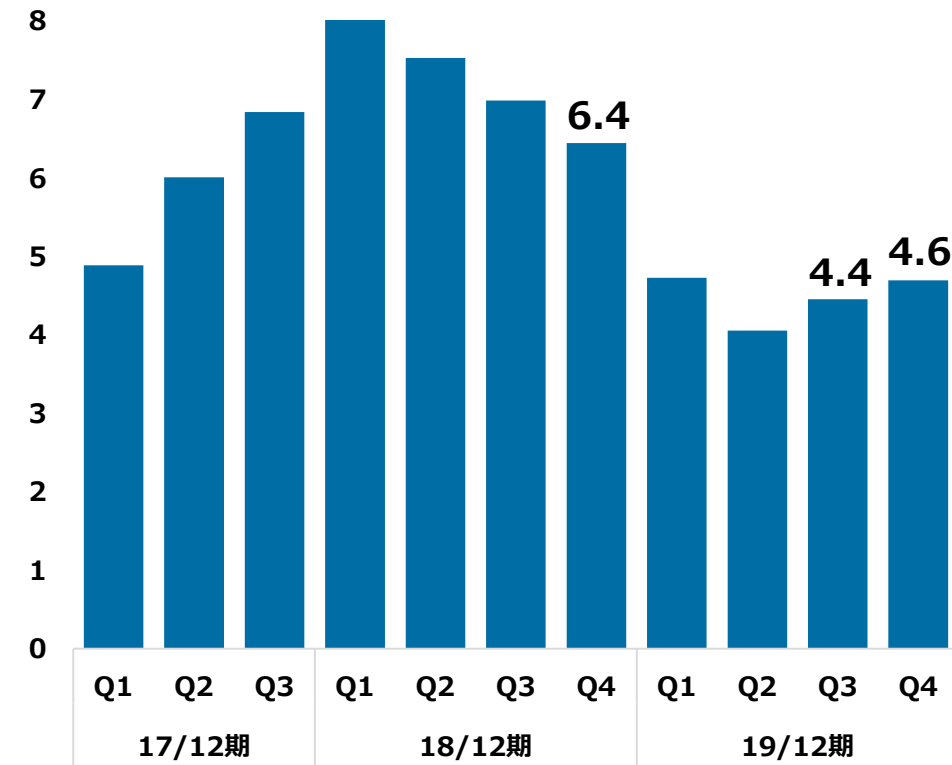
国内株式 | 株式委託手数料・委託手数料率の推移



Q/Q
1.7%増収

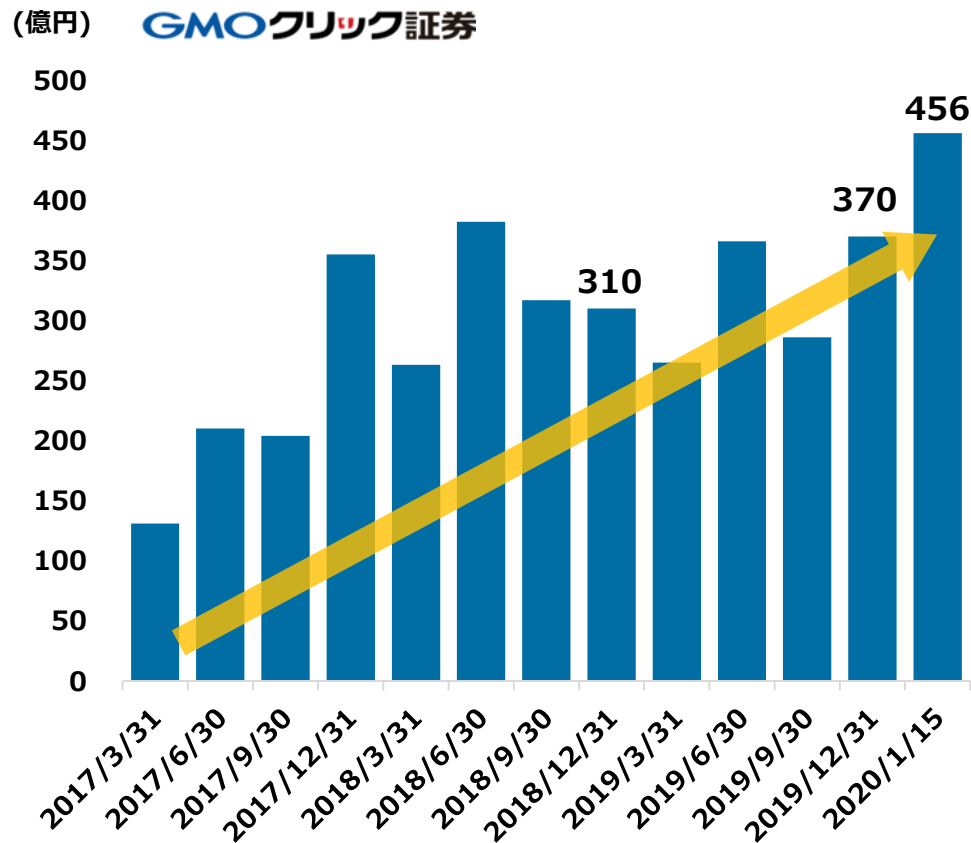
他社手数料無料化
の影響は軽微

(億円) **GMOクリック証券**



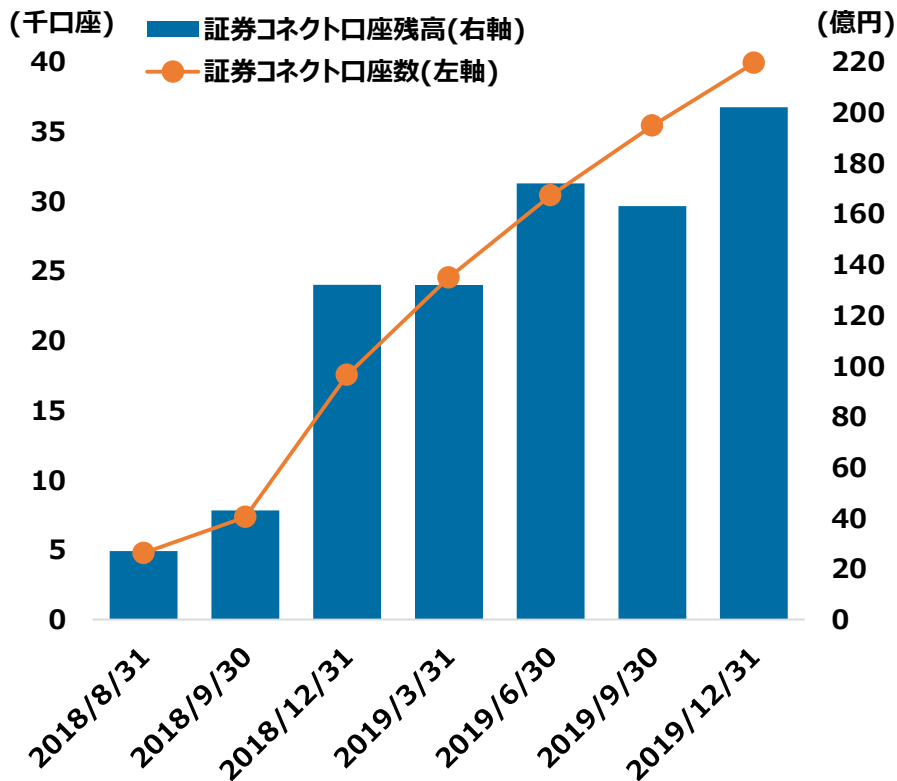
Q/Q
5.4%増

貸借取引の収支改善に伴い
金融収益が微増



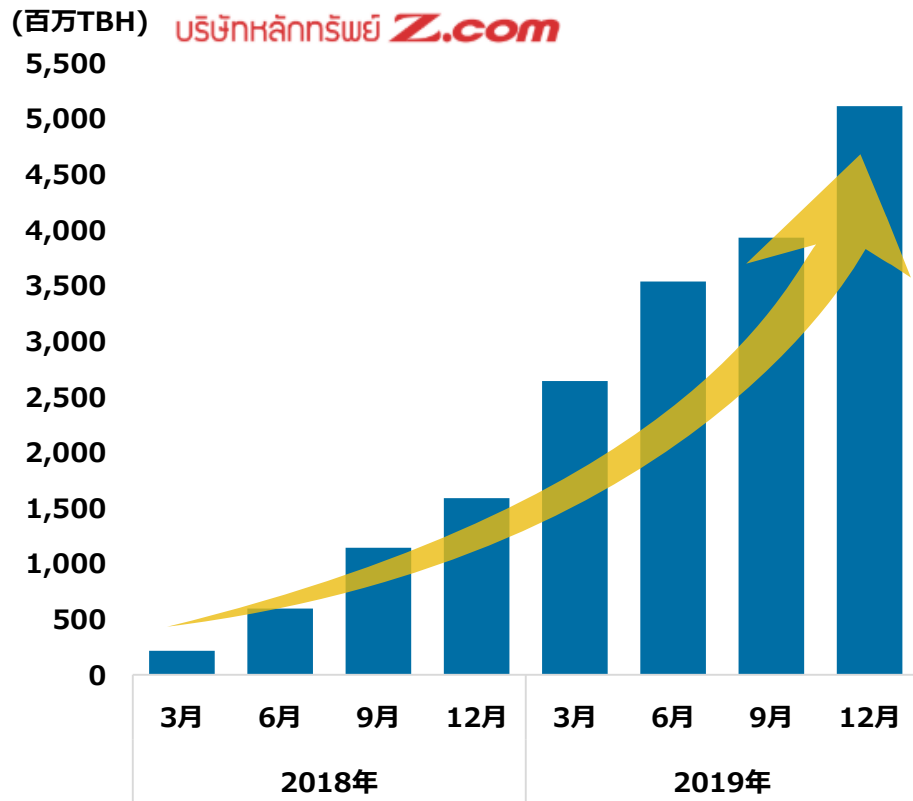
**貸株残高は
堅調に推移**

GMOクリック証券 × GMO あおぞらネット銀行



銀行・証券の口座連携サービス

口座数・残高とも 堅調に推移



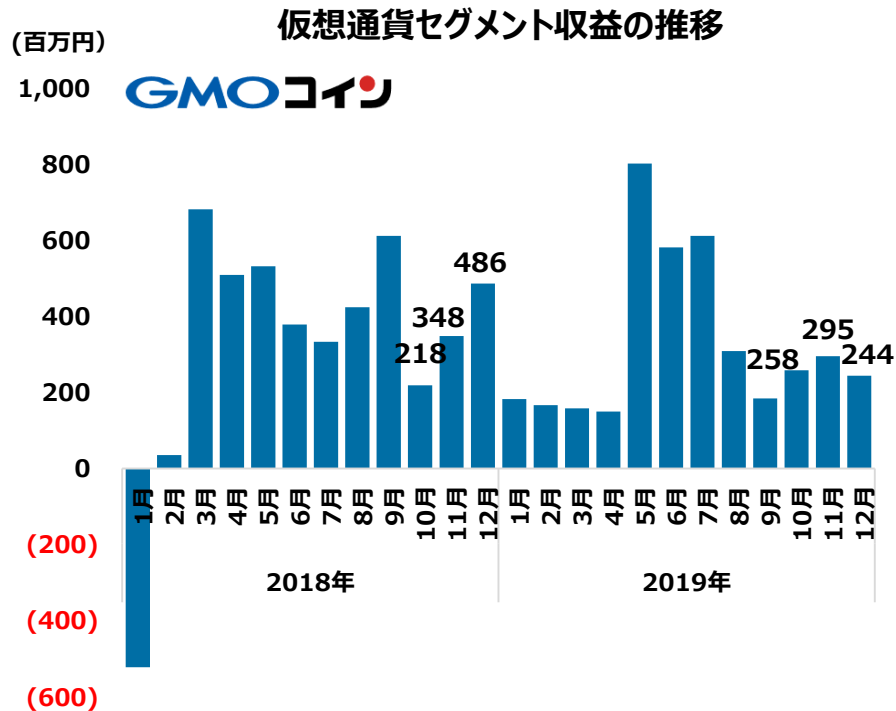
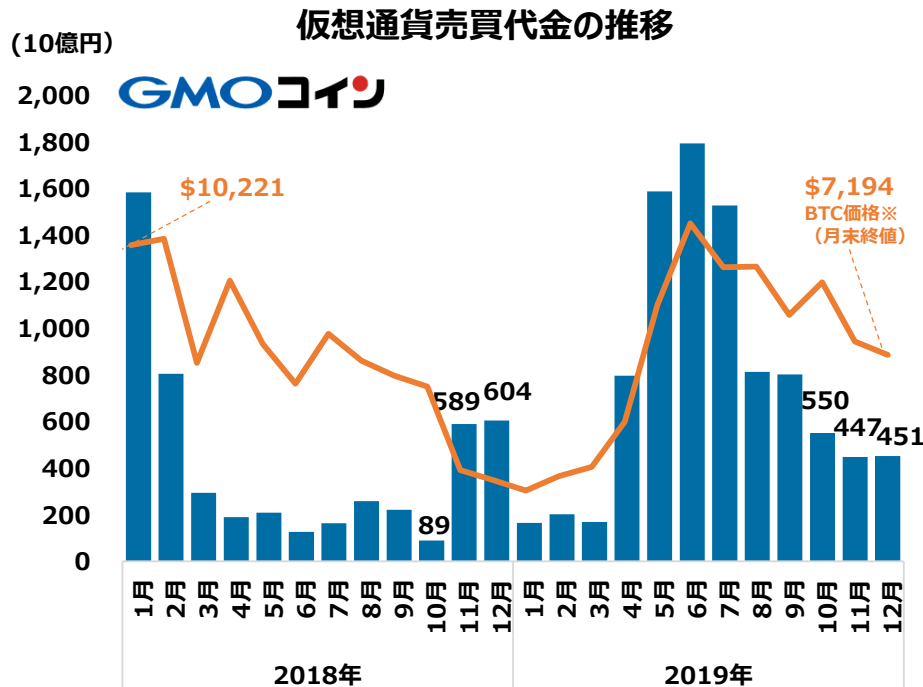
当初の狙い通り

大きく伸長

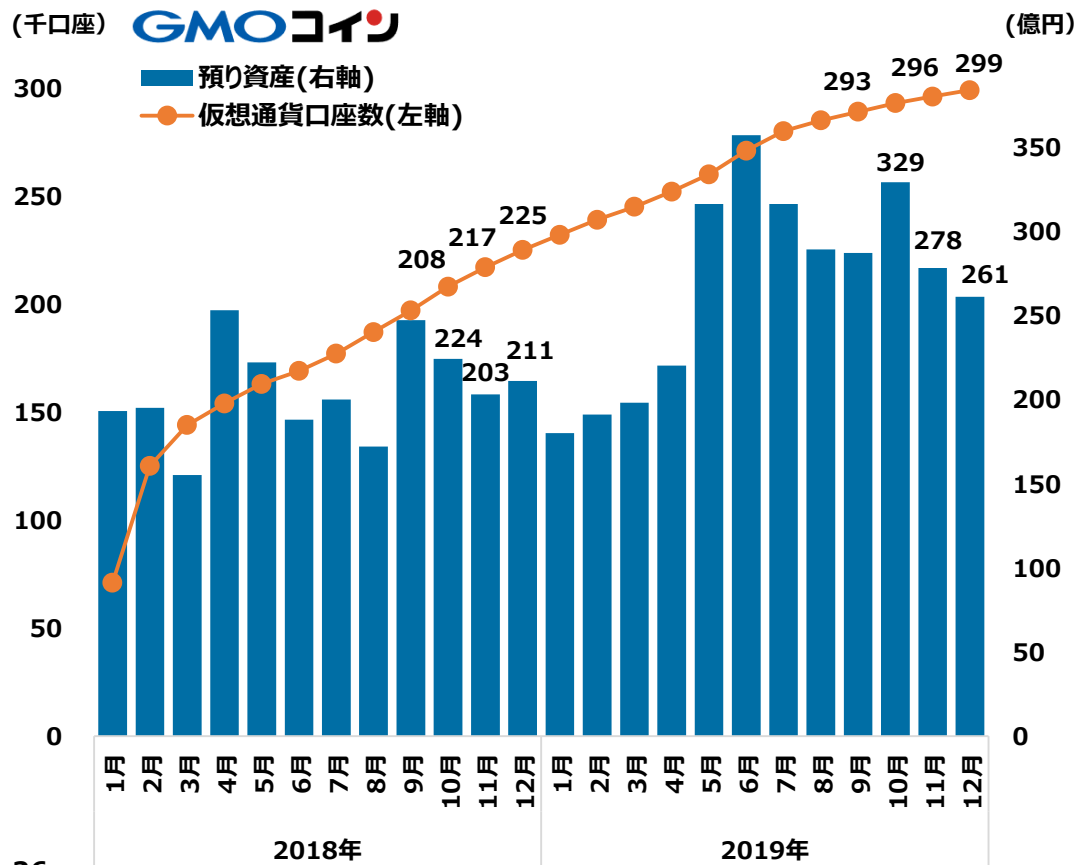
単月黒字化

2020年度は
通期黒字を見込む

7月末よりレバレッジ倍率を4倍に引き下げるも、 前期比で増益を達成



*CoinMarketCap



口座数は 堅調に推移

スプレッド引き下げの効果により
顧客基盤が順調に拡大

レバレッジ規制(2倍)に対しては
顧客基盤拡大によって対応

企業理念

金融サービスをもっとリーズナブルに
もっと楽しく自由に

あらゆる金融サービスを
もっと便利に利用できる世界の実現に向けて
既存事業のさらなる強化とともに
新たな金融領域での事業創出に挑戦し、

「インターネット総合金融グループ」を目指す



2021年12月期
営業利益目標

200億円

(参考) 2018年12月期 118億円、2019年12月期 97.6億円

主力商品・店頭FX

- ・ 収益性改善プロジェクト進捗中
さらなる収益率向上に向け、リテール、
BtoB双方の改善施策を着実に遂行

海外事業・タイ王国

- ・ 営業利益が単月黒字化
- ・ 信用取引残高が業界第6位/38社、
優位な外部環境を生かしNo.1へ

成長分野・CFD

- ・ 口座数・取引人数が堅調に推移
マーケット拡大とシェアNo.1を確固たる
ものにすべく、積極的な投資を継続

新規事業

- ・ 社会的なニーズが高く、今後成長が
見込まれる領域において、新規事業の
立ち上げを検討

無料化によるマイナスを補う事業モデルの構築を試みつつ静観

- ・ 当社の主力商品はFXをはじめとする店頭デリバティブ商品であり、株式委託手数料の収益割合は小さい
- ・ 現時点では単純な減益を回避すべく、下表のとおりリスク・影響ともに最小を選択

パターン	リスク	影響
無料化せず	顧客流出による減益	小
無料化 顧客変動なし	手数料収益ゼロ	中
無料化 顧客増加	手数料収益ゼロ 変動費増	大

(現状)

- ・ 長期的には顧客流出の懸念があるものの12月末時点では顧客流出は見られず

(対策)

- ・ 徹底的なコスト削減
- ・ 顧客増 = 収益増となる事業モデルの構築
 - ▶ クロスセル促進、ダークプールの活用…
- ・ 他の収益源の模索

2019年1月～12月の営業利益および「委託手数料」控除後の営業利益

	営業利益 2019年1月～12月	委託手数料控除後 2019年1月～12月	減少率
SBI証券（連結）	40,018 百万円	12,123 百万円	△69%
楽天証券（連結）	11,299 百万円	△2,799 百万円	—
GMOクリック証券	10,018 百万円	7,882 百万円	△21%
松井証券	8,455 百万円	△3,485 百万円	—
auカブコム証券	1,969 百万円	△3,981 百万円	—
マネックス証券	1,886 百万円	△7,476 百万円	—

※各社公表資料より当社作成。委託手数料控除後は営業利益から「委託手数料」すべてを差し引いた金額

目標連結配当性向 **50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	Q1	Q2	Q3	期末	年間
2019年 12月期	2.59 円	8.03 円	9.02 円	6.14 円	25.78 円
2018年 12月期	7.46 円	8.98 円	9.54 円	6.27 円	32.25 円

▶ **2020年12月期**
目標連結配当性向を **60% (年4回配当) へ引き上げ**

決算概要

事業概況

 **Appendix**

第4四半期決算(10-12月) | サマリー(前四半期比)

	2019年12月期Q3 (2019年7-9月)	2019年12月期Q4 (2019年10-12月)	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	90.4 億円	75.8 億円	△ 14.6 億円	△ 16.2 %
純営業収益	84.8 億円	70.1 億円	△ 14.6 億円	△ 17.3 %
営業利益	33.4 億円	21.3 億円	△ 12.1 億円	△ 36.3 %
経常利益	32.2 億円	22.6 億円	△ 9.6 億円	△ 29.8 %
最終利益	21.2 億円	14.4 億円	△ 6.7 億円	△ 32.0 %

第4四半期決算(10-12月) | セグメント別の状況(前四半期比)

()内は前四半期比

2019年7-9月

2019年10-12月

証券・FX事業

営業収益

78.0 億円

66.4 億円 (△14.9%)

営業利益

29.6 億円

19.1 億円 (△35.5%)

仮想通貨事業

営業収益

11.0 億円

7.9 億円 (△27.8%)

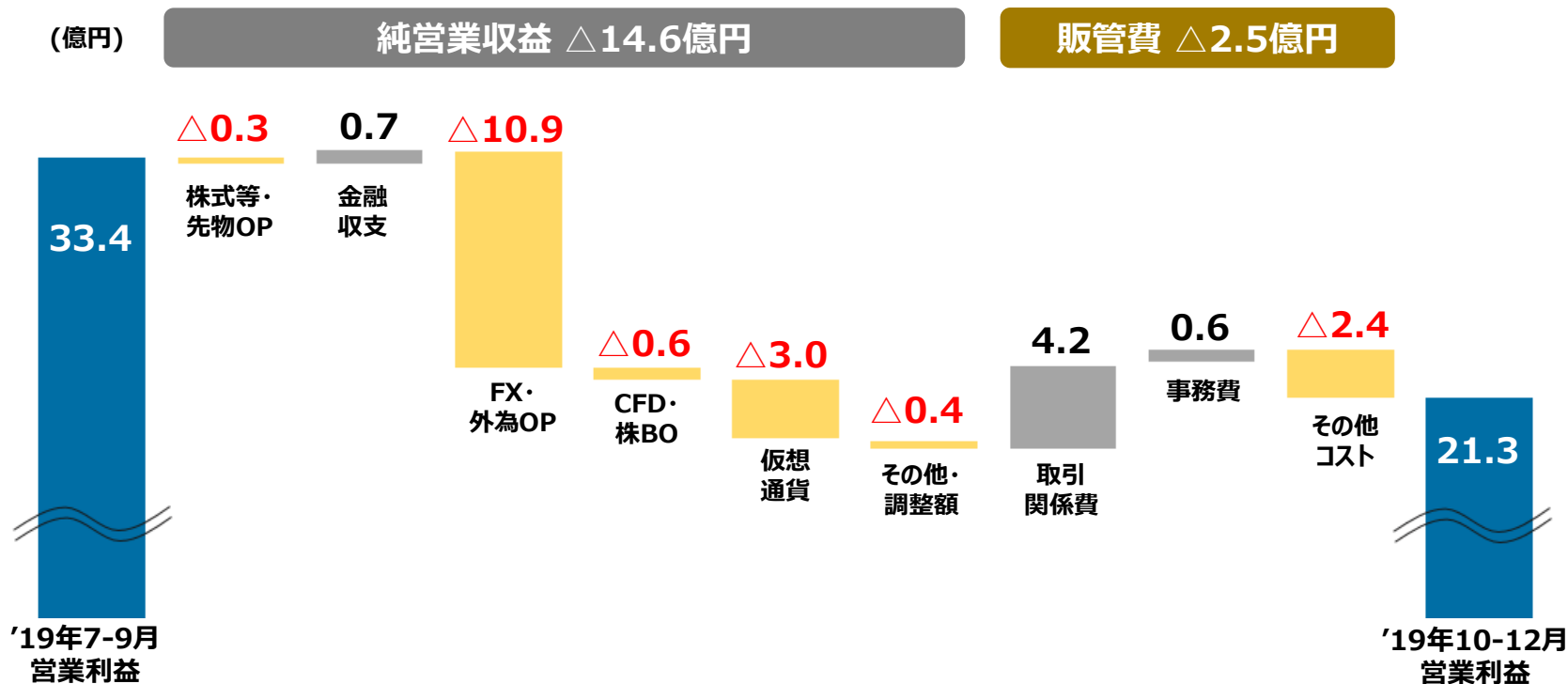
営業利益

3.4 億円

1.8 億円 (△46.8%)

第4四半期決算(10-12月) | 営業利益増減(前四半期比)

- 店頭FX、証券事業ともに低調なボラティリティの影響を受けて取引高・収益ともに減少



事業概況ハイライト | 2019年第4四半期決算(10-12月)

FX

取引高
173兆円
前年同期**206**兆円

取引高シェア
20.9%
前年同期**21.2**%

預り証拠金残高
1,920億円
前年同月末**1,726**億円

株

売買代金
2.7兆円
前年同期**3.9**兆円

売買代金シェア
4.3%
前年同期**5.4**%

信用取引残高
984億円
前年同月末**910**億円

仮想通貨

売買代金
1.4兆円
前年同期**1.2**兆円

口座数
29.9万口座
前年同月末**22.5**万口座

預り資産残高
261億円
前年同月末**211**億円

FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成
FX(店頭FX)のデータは、GMOクリック証券及びFXプライムbyGMOの合計値
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

PLの四半期推移

(単位：百万円)

	2018年12月期				2019年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
営業収益	8,346	9,007	8,882	8,551	6,905	8,965	9,048	7,581
受入手数料	1,129	956	1,086	913	918	766	838	647
トレーディング損益	5,808	6,755	6,568	6,417	4,896	7,055	7,030	5,675
金融収益	1,171	1,110	1,053	1,038	910	975	1,015	1,090
その他の営業収益	7	7	22	27	24	24	24	27
その他の売上高	230	177	150	153	156	143	138	140
金融費用	343	346	335	358	371	456	462	461
売上原価	172	140	104	110	117	108	102	105
純営業収益	7,830	8,520	8,442	8,083	6,416	8,400	8,483	7,014
販売費及び一般管理費	5,244	5,245	5,035	5,539	5,067	5,463	5,138	4,882
営業利益	2,586	3,275	3,406	2,543	1,348	2,936	3,345	2,132
営業外収益	0	22	141	△20	2	4	1	160
営業外費用	13	5	△13	101	36	65	117	24
経常利益	2,573	3,292	3,561	2,421	1,314	2,875	3,229	2,267
特別利益	81	82	124	77	88	88	88	88
特別損失	15	7	△10	0	398	0	0	115
税金等調整前四半期（当期）純利益	2,639	3,366	3,696	2,498	1,004	2,964	3,318	2,240
法人税等	1,173	1,027	1,113	952	468	914	1,113	768
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	1,781	2,148	2,286	1,503	617	1,888	2,122	1,444

営業収益（セグメント別/商品別）の四半期推移

（単位：百万円）

	2018年12月期				2019年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
証券・FX事業	7,923	7,409	7,359	7,340	6,239	7,285	7,803	6,641
株式・ETF等※	679	537	501	500	467	408	421	414
（内、株式・ETF等委託手数料）	613	485	445	457	419	366	369	373
先物・オプション	109	59	63	94	53	57	60	35
くりっく365	194	179	188	156	143	122	138	90
通貨関連店頭デリバティブ	5,218	5,095	5,052	4,661	4,093	5,124	5,549	4,449
CFD・株BO※	541	418	474	857	537	554	586	525
金融収益	1,171	1,110	1,053	1,038	910	975	1,015	1,090
その他	9	8	25	31	33	43	31	35
仮想通貨事業	192	1,420	1,369	1,053	507	1,532	1,105	798
仮想通貨	192	1,420	1,369	1,053	507	1,532	1,105	798
その他	230	177	152	156	158	146	140	143
その他	230	177	152	156	158	146	140	143
調整額	△0	0	△0	0	△0	1	△0	△1
調整額	△0	0	△0	0	△0	1	△0	△1
営業収益合計	8,346	9,007	8,882	8,551	6,905	8,965	9,048	7,581

株式・ETF等は、株式・maneo・投資信託の取引から得られる受入手数料を含む
CFDは、一部海外子会社の店頭FXに係る収益を含む

販売費及び一般管理費の四半期推移

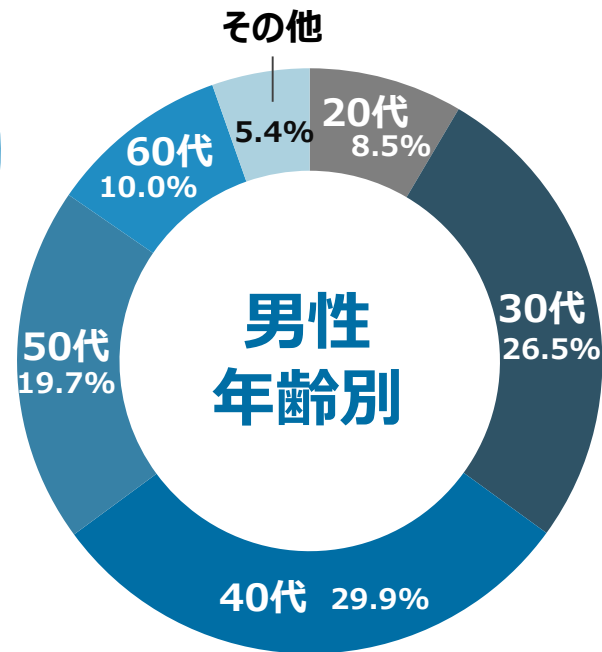
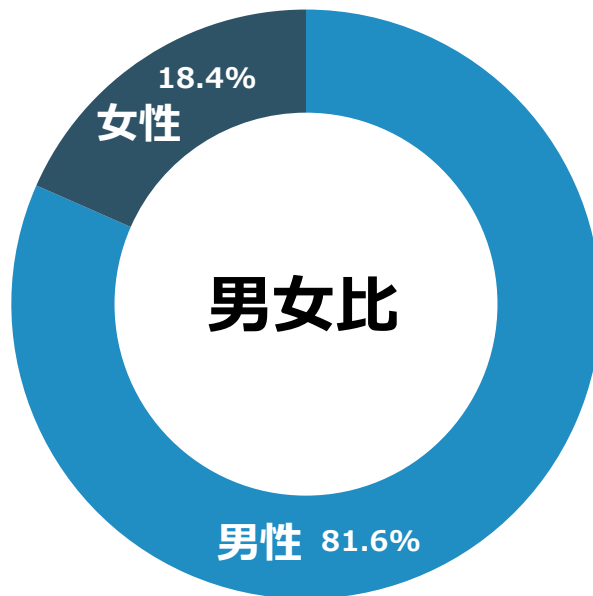
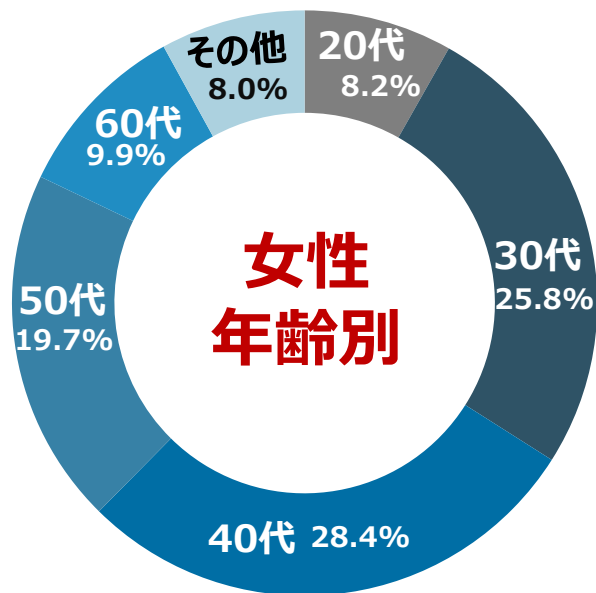
(単位：百万円)

	2018年12月期				2019年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
取引関係費	2,346	2,112	2,248	2,513	2,049	2,287	2,062	1,634
（内、広告宣伝費）	1,214	1,154	1,310	1,485	1,134	1,208	1,087	840
人件費	983	1,104	992	970	921	996	979	973
不動産関係費	657	703	704	723	738	691	731	830
事務費	754	731	721	755	775	938	857	792
減価償却費	212	216	232	247	226	247	237	276
租税公課	177	177	173	240	155	193	186	214
貸倒引当金繰入額	18	115	△120	△0	114	△3	△7	△4
のれん償却額	40	40	40	40	40	40	40	40
その他	52	43	41	47	45	71	49	123
販売費及び一般管理費	5,244	5,245	5,035	5,539	5,067	5,463	5,138	4,882

主要KPIの四半期推移

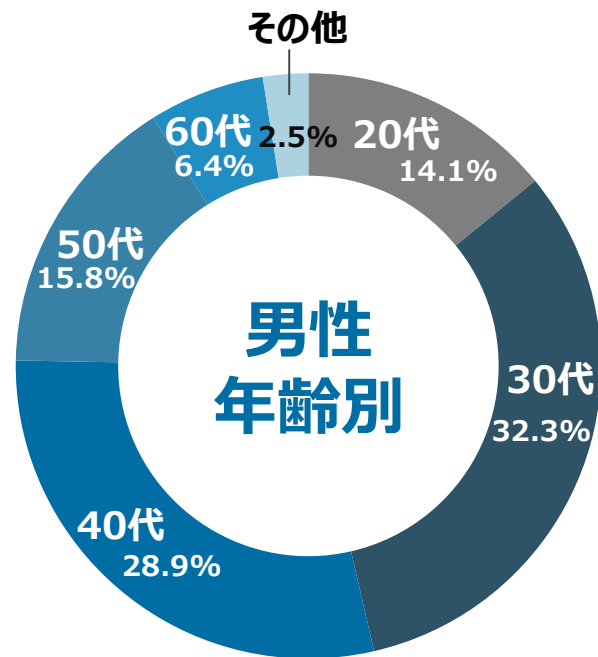
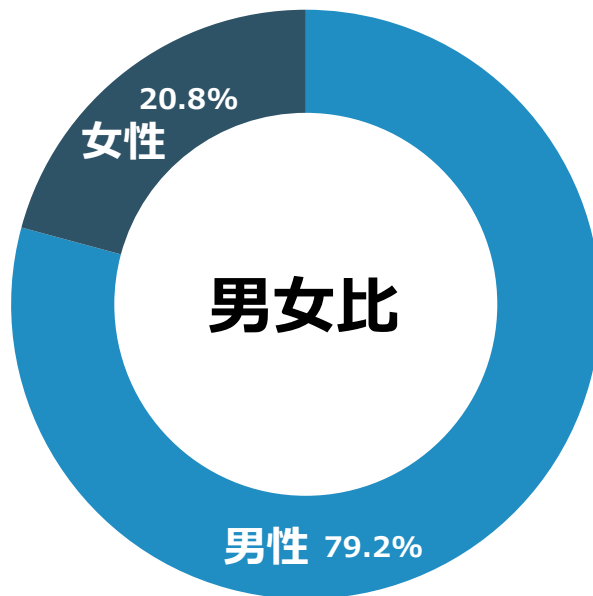
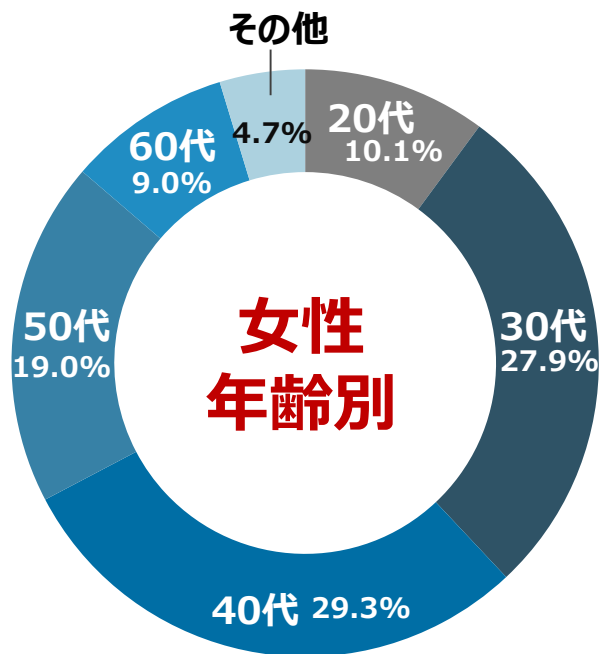
	2018年12月期				2019年12月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
GMOクリック証券								
株式								
株式売買代金 (百万円)	5,678,621	4,069,274	3,611,579	3,966,229	2,977,658	2,532,187	2,425,324	2,710,198
株式約定件数 (件)	4,320,315	3,151,309	2,925,308	3,161,666	2,701,263	2,269,341	2,231,480	2,353,249
信用取引残高 (百万円)	125,735	116,783	117,689	91,031	103,215	81,684	96,409	98,425
店頭FX								
店頭FX売買代金 (億円)	2,728,500	2,224,861	1,695,106	1,925,921	1,916,955	1,662,821	1,956,117	1,660,877
店頭FX取引数量 (百万通貨)	2,443,742	2,002,842	1,652,383	1,763,248	1,731,425	1,549,229	1,851,568	1,490,629
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	149,599	150,679	148,217	154,409	155,938	167,526	173,763	174,638
CFD								
CFD売買代金 (億円)	44,168	35,437	34,907	70,114	54,483	53,267	51,788	43,186
全商品								
全商品預り資産 (百万円)	889,120	936,930	759,651	659,108	703,860	697,302	709,722	740,559
口座数								
証券取引口座数 (口座)	339,320	346,422	358,247	372,589	385,558	397,061	407,232	415,980
FXネオ取引口座数 (口座)	529,044	543,436	559,791	577,691	598,758	618,611	636,147	649,160
CFD取引口座数 (口座)	75,936	79,789	85,885	92,620	99,749	106,430	113,178	118,638
FXプライムbyGMO								
店頭FX売買代金 (億円)	235,910	220,669	126,931	139,039	139,182	77,426	104,338	74,237
店頭FX取引数量 (百万通貨)	216,528	204,871	122,560	128,212	131,399	74,333	103,074	68,251
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	17,750	17,817	17,500	18,209	17,980	18,991	19,622	17,368
取引口座数 (口座)	180,095	181,598	184,601	187,509	191,050	195,620	199,138	201,364
GMOコイン								
仮想通貨売買代金 (百万円)	2,680,961	524,783	643,004	1,283,260	535,127	4,177,468	3,142,508	1,449,178
取引口座数 (口座)	144,376	169,888	197,315	225,426	245,639	271,122	289,970	299,333

証券取引口座



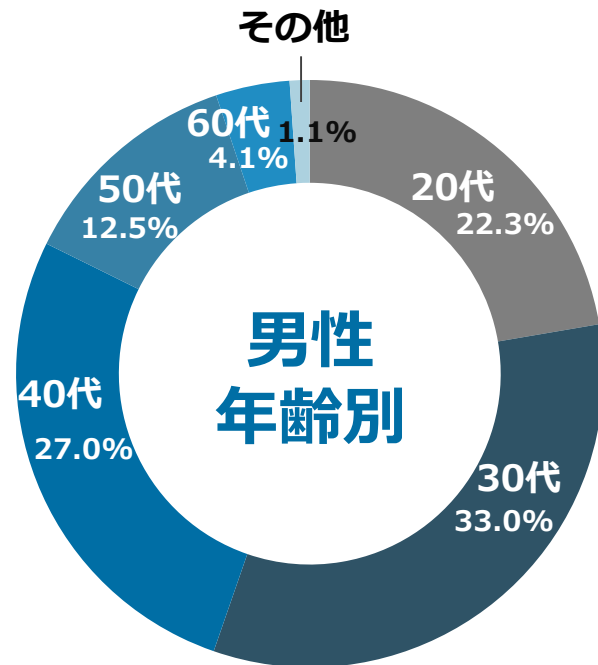
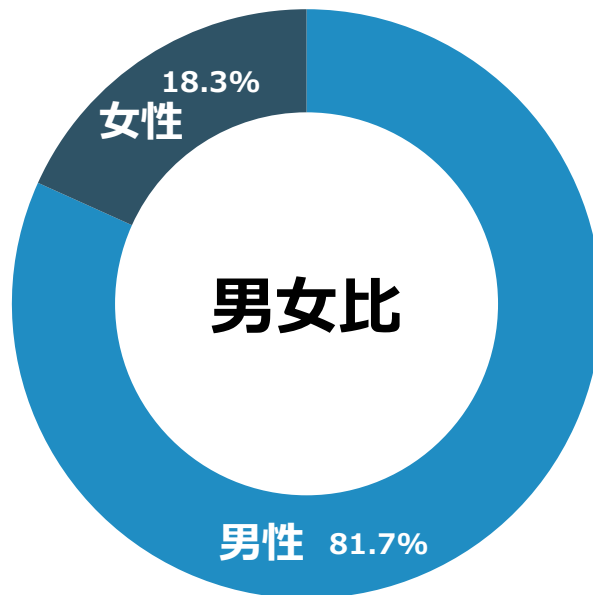
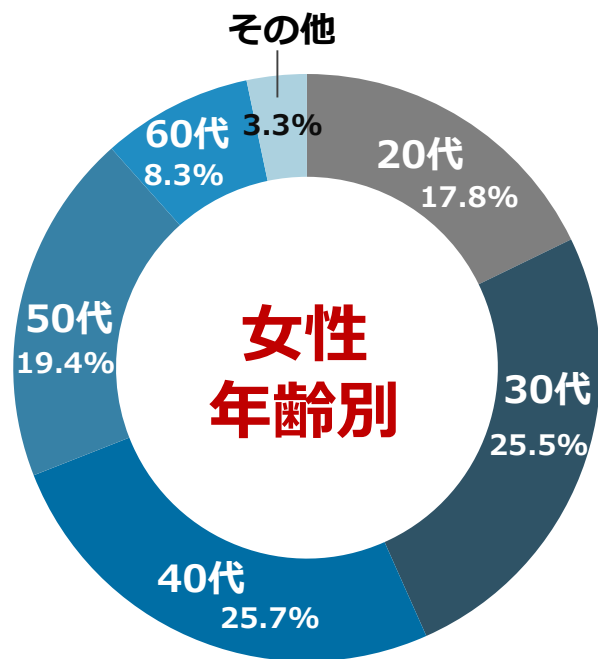
2019年12月末日現在

FX専用取引口座



2019年12月末日現在

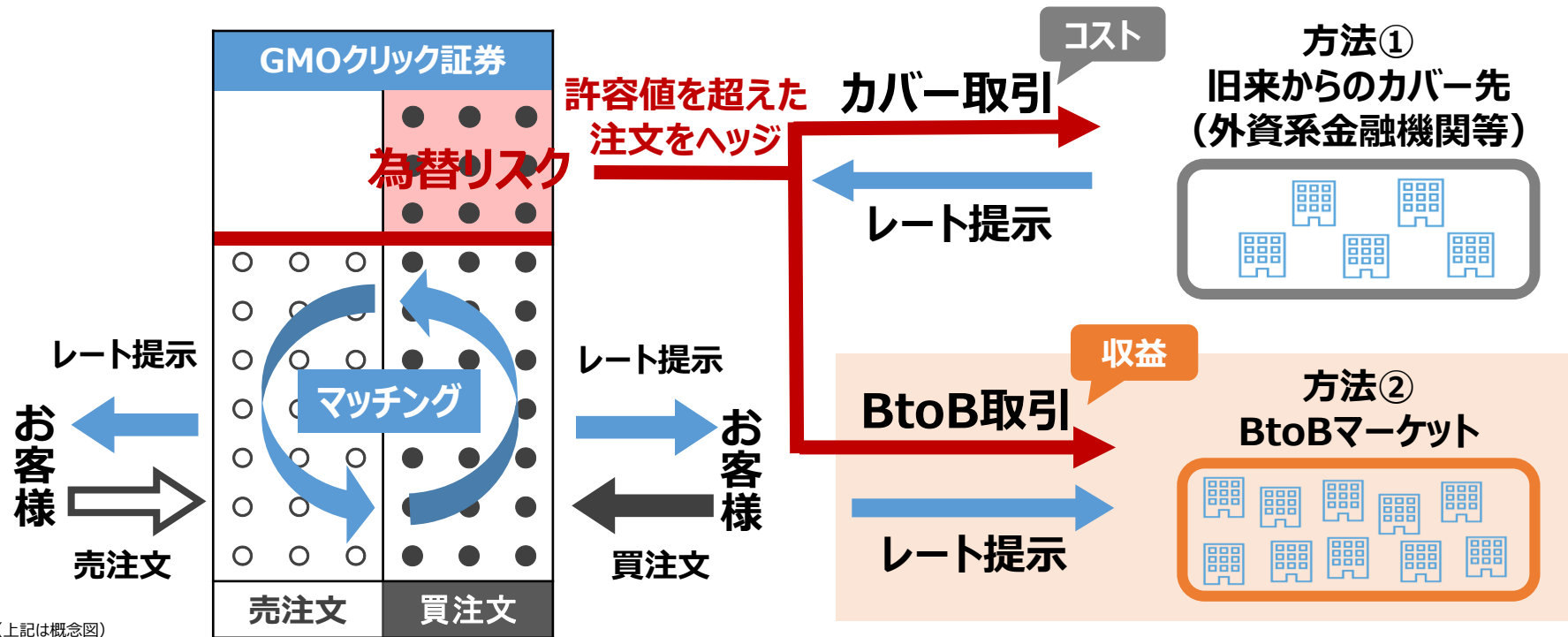
仮想通貨取引口座



2019年12月末日現在

ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

- 効率的なマッチングと、ポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求
- 新たなヘッジ方法として「BtoB」を試行中、これまでのカバーコストを収益へ

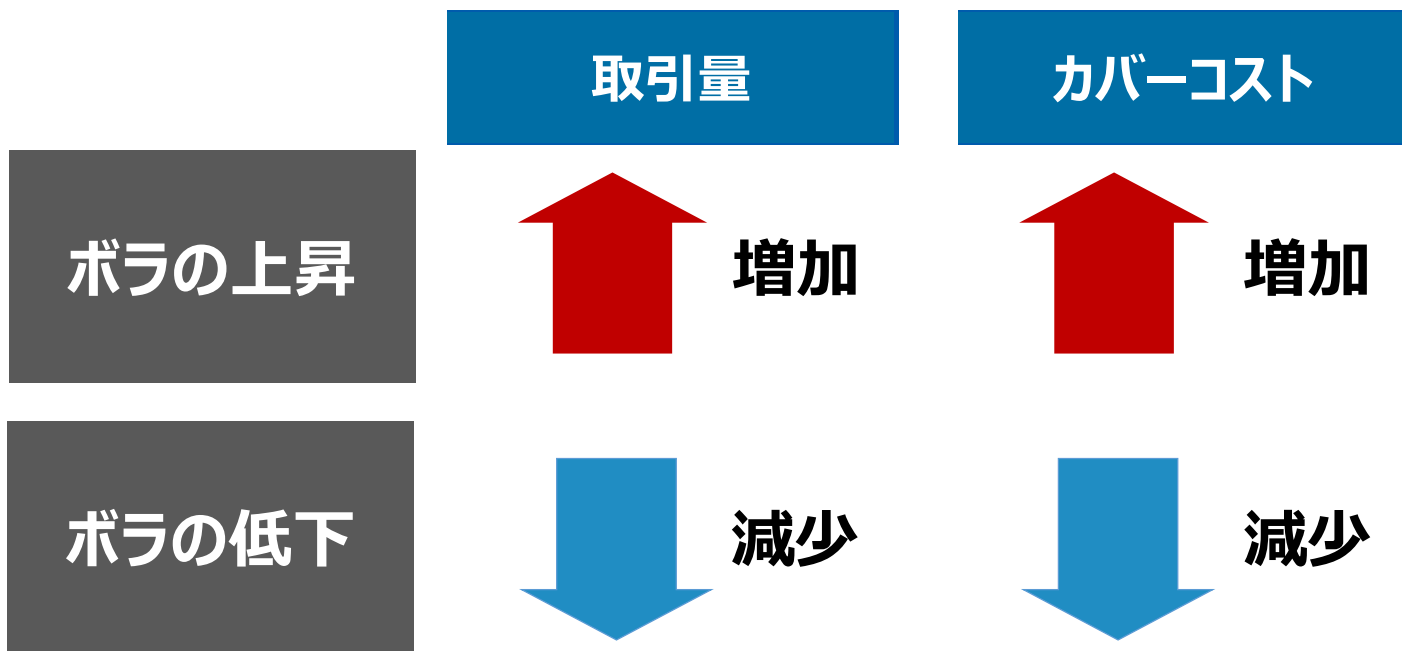


(上記は概念図)

ボラティリティと収益の関係

収益
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバー取引}$$
$$\left(\text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量} \right) - \left(\text{カバースプレッド} \times \text{カバー数量} \right)$$



(上記は概念図)

免責事項

本資料には、2020年2月5日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。